

下水の道を極める－破－

主催：国土交通省，土木学会(環境工学委員会中長期下水道施設システム調査小委員会)

日時：2025年2月7日 13時30分から16時30分

場所：土木学会講堂およびZOOMオンライン（ハイブリッド開催）

参加申込方法：土木学会webより申し込み（2月4日締め切り）

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

参加費：無料

連絡先: 土木学会（尾崎） Tel 03-3355-3502, E-mail fumiharu-ozaki(AT)jsce.or.jp

<開催趣旨>

私たちは下水の道を極めなければなりません。過去から現在まで、下水道という巨大公共インフラを築き維持管理してきた過程が「道」（どう）を究める過程に近いものがあることと、現在から将来に向けて社会変動という課せられた条件を満たすべく「道」（みち）を切り拓いて行かなければならないという時間軸としては同一線上にありながら空間的には峠を越えるという務めを果たしていかなければなりません。今年度の位置づけは「序」に続く「破」となります。

「破」のシンポジウムでは、空間軸を拡大し、中尾世治准教授から文化人類学の立場での「汚さ」の感覚と文化を論じていただきます。世界を見渡すとき「汚さ」の感覚は日本とは大きく異なります。これは国際的な問題を扱うときには避けて通れません。一方、時間軸を延長した話題を秋田県の高橋知道氏からお話頂きます。国内での下水道に関わる問題は人口減少地域で先ず顕在化します。この問題の山積した秋田で長らく下水道のあり得る様相の拡大に奮闘されてきた高橋氏の講演は示唆に富むものを多く含んでいます。東北大学の石大石助教からはこれからの分散と集中のベストミックスの解析方法を、そして、水ing株式会社の増山貴明氏は、これからの分散と集中のベストミックスのあり方に関する実務面からの可能性を探ってください。

本シンポジウムでは、将来の社会に向けて下水道のあり方論をその基底から考えようとしています。上下水道に関わる方に留まらず広く一般の皆様方の参加を歓迎いたします。

<プログラム>

司会：原田英典・京都大学

13:30	開会
13:30－	主催者挨拶
13:35	長谷川広樹 国土交通省 大臣官房参事官（上下水道技術）付 課長補佐
13:35-	シンポジウムの趣旨説明
13:50	楠田哲也 九州大学高等研究院 特別顧問・名誉教授
13:50－	「汚さ」の感覚と文化：文化人類学の視点から
14:20	中尾世治 京都大学 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授

14:20－ 14:50	「地域に生きる市民のため下水道は何をすべきか」－「昭和100年に想う 地方の下水道のあり方」－ 高橋知道 秋田県
	休憩
15:00－ 15:30	多視点に基づく集中分散ベストミックスの数理的探索 大石若菜 東北大学 大学院工学研究科 助教
15:30－ 16:00	大規模集約×小規模分散のベストミックスと、汚水処理システムが持つフ ァンクションに注目した将来展望 増山貴明 水ing株式会社 次世代バリュー創生室 室長
16:00－ 16:30	総合討論 [進行：楠田哲也]
16:30	閉会

*土木学会継続教育(CPD)プログラムの認証を申請中です。